



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 尾家産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7481 URL <https://www.oie.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 尾家 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 畑中 則行 TEL 06-6375-0151 (代表)
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月5日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	129,321	8.4	3,815	7.0	3,871	7.2	2,806	△0.2
2025年3月期	119,256	7.1	3,565	9.9	3,610	10.6	2,812	△7.9

(注) 包括利益 2026年3月期 3,329百万円(26.9%) 2025年3月期 2,624百万円(△24.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	338.34	—	17.9	9.8	3.0
2025年3月期	339.57	—	20.7	9.9	3.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	41,111	16,970	41.3	2,044.50
2025年3月期	37,597	14,476	38.5	1,746.60

(参考) 自己資本 2026年3月期 16,970百万円 2025年3月期 14,476百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,266	△2,980	△980	5,394
2025年3月期	3,744	△546	△1,083	6,089

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	45.00	—	57.00	102.00	845	30.0	6.2
2026年3月期	—	47.00	—	55.00	102.00	846	30.1	5.4
2027年3月期(予想)	—	52.00	—	52.00	104.00		30.2	

(注) 2025年3月期の期末配当金には、特別配当12円が含まれております。

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,600	4.9	2,000	0.8	2,050	2.0	1,420	0.6	171.07
通期	136,800	5.8	4,090	7.2	4,210	8.7	2,860	1.9	344.55

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	9,255,000株	2025年3月期	9,255,000株
2026年3月期	954,396株	2025年3月期	966,780株
2026年3月期	8,295,862株	2025年3月期	8,283,482株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	127,663	8.6	3,790	6.9	3,847	7.1	2,789	△0.5
2025年3月期	117,575	5.6	3,546	8.2	3,591	8.8	2,804	△9.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	336.26	—
2025年3月期	338.51	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	40,794	16,350	40.1	1,969.81
2025年3月期	37,314	14,291	38.3	1,724.36

(参考) 自己資本 2026年3月期 16,350百万円 2025年3月期 14,291百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、企業の設備投資や賃上げによる堅調な個人消費等にささえられ、引き続き緩やかな回復基調となりました。一方で、米国関税、日中関係、中東情勢等、国内外の情勢は一層不透明感を増し、食品や原材料、エネルギー価格の上昇も加わり、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要取引先であります外食産業におきましては、メニュー価格の改定等による客単価のアップ、大阪・関西万博の開催と過去最高の訪日外国人等が外食需要を喚起し、市場は堅調に拡大いたしました。しかしながら、原材料価格、エネルギー費、物流費、人件費等の高騰とメニュー価格の更なる上昇、深刻な人手不足等のマイナス要因も顕在化しており、今後の消費動向は極めて流動的です。

このような状況下、当社グループは第6次中期経営計画の骨子である営業重点施策に営業資源を集中させるとともに、外食市場やヘルスケアフード業態に対して確実に商品を確保し、適正な価格で提供させていただくことに注力いたしました。

営業施策としまして、2026年1月から3月にかけて全国15会場で「マッチング」をテーマに春季提案会を開催し、8,000名近いユーザー様に来場いただきました。新規ユーザー様の来場も過去最高となる約600社となりました。

また、営業活動として新規ユーザー様の拡大に向け、メニューや商品に加え物流、受発注システム等、開業準備の段階からのきめ細かなフォローを実施いたしました。春季提案会に加えこれらの活動もあいまって、当連結会計年度においては約1,000軒の新規ユーザー様との取引の開始となりました。

商品政策では、1月から3月にかけて「燦宝夢 味付めかぶ」を含むプライベートブランド商品（以下PB商品）14品を新たに発売し商品の拡充を図りました。「サンホーム ミニロールキャベツ（かんぴょうなし）」は、かんぴょうを使わず柔らかいキャベツで包んだ老若男女問わず食べやすい商品です。「サンホーム 米粉のバスクチーズ」は米粉を使用し、なめらかで濃厚な味わいが評価され、多くの採用に繋がりました。新商品14品のうちこれら2品を含めた3品が「やさしいメニュー」ロゴ入りPB商品となります。

ヘルスケア向け商品についても拡充を図りました。お節は、お一人様用の「燦」に続き、「ムースおせち 燦」を発売しましたところ、高齢者需要を取り込み好調に推移しました。在宅高齢者向けの「楽チン! 冷凍おかず」は、従来のAセット（10種）に新たにBセット（10種）を追加発売しました。これら新商品をはじめとする商品・メニューの提案を、病院、高齢者施設向けの個別プレゼンテーションとして積極的に実施しました。このような営業活動や販売施策が奏功し、ヘルスケアフード業態は前年同期比109%の伸長となりました。

拡大するインバウンド需要に対応して、宿泊業態についても精力的な営業活動を行いました。特に朝食向けのプレゼンテーションの実施や商品・メニューの提案に注力し、一部の施設で中国からの旅行客減少による影響があったものの、宿泊施設全体では前年同期比110%以上の販売実績となりました。

営業基盤強化の一環として、2025年2月に開設いたしました宮崎出張所につきましては、新規ユーザー様の獲得が順調に進み、当連結会計年度の販売実績は初年度計画を上回りました。

物流品質の向上と安全な食品の提供を目指し、前連結会計年度はF S S C 22000認証を4拠点で取得いたしました。当連結会計年度は新たに名古屋支店・福岡支店の2拠点で取得し、計6拠点での認証となりました。今後も継続して高い食品衛生及び物流品質の維持、向上に努めてまいります。

当社グループのC&C（キャッシュアンドキャリー）業態である「サンプラザ」及び「ももひこや」は、一部店舗で店内調理による惣菜の販売を始める等、需要の創造と地域に密着した店舗運営により前年同期比105%の売上となりました。

EC（電子商取引）ビジネスにつきましては「サンプラザ楽天市場店」での販売強化を図り、取扱品種の大幅な拡大もあり販売実績は大きく伸長いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,293億21百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益38億15百万円（前年同期比7.0%増）、経常利益38億71百万円（前年同期比7.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益28億6百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、411億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して35億13百万円の増加となりました。

主な要因は、繰延税金資産が2億5百万円減少した一方で、現金及び預金が17億66百万円、受取手形及び売掛金が10億3百万円、投資有価証券が6億84百万円、退職給付に係る資産が2億97百万円増加したことによります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、241億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億19百万円の増加となりました。

主な要因は、退職給付に係る負債が2億90百万円減少した一方で、買掛金が9億78百万円、未払金が1億55百万円、未払費用が1億22百万円増加したことによります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、169億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億94百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が19億44百万円、退職給付に係る調整累計額が4億18百万円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、53億94百万円

(前期比11.4%減)となり、前連結会計年度末と比較して6億94百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は32億66百万円の収入(前連結会計年度は37億44百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が38億71百万円、減価償却費が5億22百万円、仕入債務の増加額が9億78百万円に対し、売上債権の増加額が10億3百万円、法人税等の支払額が10億85百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、29億80百万円の支出(前連結会計年度は5億46百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出が25億2百万円、投資有価証券の取得による支出が5億32百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、9億80百万円の支出(前連結会計年度は10億83百万円の支出)となりました。

これは主に、短期借入金の返済による支出が1億15百万円、配当金の支払額が8億60百万円によるものであります。

なお、キャッシュ・フロー指標は次のとおりであります。

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	—	—	35.8	38.5	41.3
時価ベースの自己資本比率(%)	—	—	39.9	43.2	50.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—	15.2	7.9	9.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	677.8	1,705.8	946.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式を除く)により計算しております。
 2 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
 3 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

我が国の経済は、賃金上昇や企業のDX推進、人手不足解消に向けた設備投資の活発化、今後も増え続けるインバウンド需要等、明るい兆しが見られる一方、国内外の様々な要因に起因する物価上昇は今後も継続し、不透明な状況にあります。

このような経済環境の下、翌連結会計年度(2027年3月期)の連結業績見通しにつきましては、外食産業の拡大基調の中、ますます深刻化する人手不足や価格上昇による消費マインドの冷え込み等もあり、楽観視を許さない状況です。

当社グループといたしましては企業の安定成長のために、当連結会計年度よりスタートしました第6次中期経営計画に沿って収益基盤の強化を図ってまいります。ますます激化する競争環境や市場の変化に打ち勝つために「Change! Challenge! Create!」(変われ! 挑め! 創り出せ!)をスローガンとし、「収益力の強化」「事業領域の拡大」「経営基盤の整備・強化」を重点戦略に掲げ、全社一丸となって目標達成に向けて邁進いたします。

①収益力の強化

「ヘルスケアフード」「PB商品」を重点施策とし、特に営業リソースを重点的に投下して、販路の拡大や取扱いの促進により収益の拡大と安定化を図ります。

②事業領域の拡大(新領域への進出・事業開発)

C&C業態の店舗拡大、ECビジネス、海外市場への商品供給等の取組みに挑戦します。

③経営基盤(インフラ)の整備・強化

企業の持続的な成長を支えるのは社員一人ひとりの「健康」であることを再認識し、健康経営の一層の推進を図り、エンゲージメント向上に向けた具体的目標を掲げてこれに取り組めます。また、将来の成長に向けた組織や拠点政策の見直し、中核人材の育成や女性の活躍促進に向けた行動計画を策定し、実行してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,128	7,894
受取手形及び売掛金	14,944	15,948
商品	3,606	3,867
未収入金	1,755	1,829
その他	63	79
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	26,492	29,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,842	10,888
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,565	△6,932
建物及び構築物（純額）	4,276	3,956
機械装置及び運搬具	463	457
減価償却累計額及び減損損失累計額	△377	△394
機械装置及び運搬具（純額）	86	63
工具、器具及び備品	564	597
減価償却累計額及び減損損失累計額	△429	△417
工具、器具及び備品（純額）	135	180
土地	2,280	2,324
建設仮勘定	—	10
有形固定資産合計	6,779	6,533
無形固定資産		
のれん	46	35
ソフトウェア	110	125
その他	27	27
無形固定資産合計	184	188
投資その他の資産		
投資有価証券	811	1,496
関係会社株式	95	95
退職給付に係る資産	—	297
差入保証金	2,133	2,039
繰延税金資産	944	739
その他	209	117
貸倒引当金	△53	△11
投資その他の資産合計	4,141	4,775
固定資産合計	11,105	11,496
資産合計	37,597	41,111

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,459	17,437
短期借入金	50	20
1年内返済予定の長期借入金	53	47
リース債務	42	63
未払金	239	395
未払費用	1,789	1,912
未払法人税等	667	688
賞与引当金	785	785
その他	139	157
流動負債合計	20,227	21,507
固定負債		
長期借入金	62	16
リース債務	88	155
役員退職慰労引当金	220	220
資産除去債務	774	779
退職給付に係る負債	1,605	1,314
その他	143	146
固定負債合計	2,894	2,633
負債合計	23,121	24,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305	1,305
資本剰余金	1,240	1,247
利益剰余金	12,882	14,826
自己株式	△1,496	△1,476
株主資本合計	13,932	15,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	438
退職給付に係る調整累計額	210	629
その他の包括利益累計額合計	544	1,067
純資産合計	14,476	16,970
負債純資産合計	37,597	41,111

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	119,256	129,321
売上原価	96,723	104,938
売上総利益	22,533	24,383
販売費及び一般管理費	18,968	20,567
営業利益	3,565	3,815
営業外収益		
受取利息	6	13
受取配当金	14	16
受取賃貸料	16	10
雑収入	22	20
営業外収益合計	59	62
営業外費用		
支払利息	2	3
賃貸費用	0	0
和解金	9	—
雑損失	1	2
営業外費用合計	14	6
経常利益	3,610	3,871
特別利益		
投資有価証券売却益	249	—
特別利益合計	249	—
税金等調整前当期純利益	3,860	3,871
法人税、住民税及び事業税	1,059	1,101
法人税等調整額	△11	△36
法人税等合計	1,047	1,065
当期純利益	2,812	2,806
親会社株主に帰属する当期純利益	2,812	2,806

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,812	2,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143	104
退職給付に係る調整額	△44	418
その他の包括利益合計	△188	522
包括利益	2,624	3,329
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,624	3,329
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,305	1,233	10,938	△1,515	11,962
当期変動額					
剰余金の配当			△869		△869
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,812		2,812
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		6		19	26
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	6	1,943	18	1,969
当期末残高	1,305	1,240	12,882	△1,496	13,932

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	477	254	732	12,694
当期変動額				
剰余金の配当				△869
親会社株主に帰属する 当期純利益				2,812
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				26
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△143	△44	△188	△188
当期変動額合計	△143	△44	△188	1,781
当期末残高	333	210	544	14,476

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,305	1,240	12,882	△1,496	13,932
当期変動額					
剰余金の配当			△862		△862
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,806		2,806
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		7		20	27
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	7	1,944	20	1,971
当期末残高	1,305	1,247	14,826	△1,476	15,903

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	333	210	544	14,476
当期変動額				
剰余金の配当				△862
親会社株主に帰属する 当期純利益				2,806
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				27
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	104	418	522	522
当期変動額合計	104	418	522	2,494
当期末残高	438	629	1,067	16,970

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,860	3,871
減価償却費	567	522
のれん償却額	11	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△117	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	95	24
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20	—
受取利息及び受取配当金	△21	△30
支払利息	2	3
投資有価証券売却損益 (△は益)	△249	—
売上債権の増減額 (△は増加)	101	△1,003
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△320	△260
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△85	△62
差入保証金の増減額 (△は増加)	329	△7
仕入債務の増減額 (△は減少)	974	978
未払金の増減額 (△は減少)	△242	118
未払費用の増減額 (△は減少)	19	122
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	9	21
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	9	3
その他	11	56
小計	4,976	4,324
利息及び配当金の受取額	21	30
利息の支払額	△2	△3
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,250	△1,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,744	3,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△515	△68
無形固定資産の取得による支出	△10	△19
有形固定資産の売却による収入	0	1
投資有価証券の取得による支出	△1	△532
投資有価証券の売却による収入	298	—
定期預金の預入による支出	△38	△2,502
定期預金の払戻による収入	16	39
敷金及び保証金の差入による支出	△298	△1
敷金及び保証金の回収による収入	110	102
非連結子会社株式の取得による支出	△95	—
その他	△12	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△546	△2,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△57	△39
長期借入金の返済による支出	△209	△51
配当金の支払額	△866	△860
短期借入れによる収入	50	85
短期借入金の返済による支出	—	△115
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,083	△980
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,115	△694
現金及び現金同等物の期首残高	3,973	6,089
現金及び現金同等物の期末残高	6,089	5,394

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社グループの報告セグメントは「食品卸売事業」のみであり、「倉庫業」は重要性が乏しいため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社グループの報告セグメントは「食品卸売事業」のみであり、「倉庫業」は重要性が乏しいため記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	常温食品	冷蔵食品	冷凍食品	酒類	非食品	倉庫業	合計
売上高	40,469	12,465	63,375	598	2,179	167	119,256

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	常温食品	冷蔵食品	冷凍食品	酒類	非食品	倉庫業	合計
売上高	44,371	13,784	67,912	638	2,443	171	129,321

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社グループの報告セグメントは「食品卸売事業」のみであり、「倉庫業」は重要性が乏しいため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社グループの報告セグメントは「食品卸売事業」のみであり、「倉庫業」は重要性が乏しいため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません

(収益認識関係)

(単位：百万円)

	前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)						
	食品卸売事業					倉庫業	合計
	常温食品	冷蔵食品	冷凍食品	酒類	非食品		
北日本地区	2,459	500	3,245	36	182	—	6,425
関東地区	9,855	5,378	15,197	192	820	—	31,444
東海北陸地区	3,283	892	5,627	29	69	—	9,902
関西地区	17,964	4,061	26,336	220	719	—	49,302
中四国地区	3,687	838	6,929	42	148	—	11,647
九州地区	2,867	675	5,830	30	163	—	9,566
その他	351	118	206	45	76	—	799
顧客との契約から生じる収益	40,469	12,465	63,375	598	2,179	—	119,088
その他の収益(注)	—	—	—	—	—	167	167
合計	40,469	12,465	63,375	598	2,179	167	119,256

(注) その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入であります。

(単位：百万円)

	当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)						
	食品卸売事業					倉庫業	合計
	常温食品	冷蔵食品	冷凍食品	酒類	非食品		
北日本地区	2,601	513	3,471	36	199	—	6,822
関東地区	11,021	6,179	16,468	187	971	—	34,828
東海北陸地区	3,575	901	5,641	29	97	—	10,244
関西地区	19,700	4,482	28,799	236	784	—	54,003
中四国地区	3,964	882	7,380	40	157	—	12,425
九州地区	3,124	700	5,945	59	156	—	9,986
その他	384	124	203	48	76	—	838
顧客との契約から生じる収益	44,371	13,784	67,912	638	2,443	—	129,150
その他の収益(注)	—	—	—	—	—	171	171
合計	44,371	13,784	67,912	638	2,443	171	129,321

(注) その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,746円60銭	2,044円50銭
1株当たり当期純利益	339円57銭	338円34銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,812	2,806
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,812	2,806
期中平均株式数(株)	8,283,482	8,295,862

(重要な後発事象)

該当事項はありません。